

# あつぎこどもの森クラブ 2021 年度水辺の生き物調査隊募集

自然 PJ 諏訪部 晶

水辺の生き物(水の中やその周辺の生き物)をつかまえて調べてみよう。

一生水の中で生活している魚や貝、幼虫・幼生の時だけ水の中で生活し成虫・幼体になると水の外に飛び出すものやサナギの時は水の外に出て、また水の中や水面に戻ってくるものなど水辺を利用する生き物はたくさんいます。

水の中の生き物をガサガサと水網で掬い取ってどんなものがあるか絵に描いたり写真に撮ったりして名前やどんな生活をしているのかを調べていきます。また、水辺を利用しているトンボなどの昆虫も調べていきたいと思えます。要望があれば水草や湿地性の植物も対象にしたいと考えています。水辺の生き物の魅力を存分に伝え、楽しみながら自然の営みに接してもらいたいと願っています。

水辺での調査なので、小学生以下のお子さんは保護者同伴でお願いします(中学生以上は1人で参加可) …家族ぐるみで取り込みたいので。原則年間を通して参加できる人(7~8割以上の参加)を募集します。

湿地への負荷を考慮して先着 **21組**とさせていただきます。昨年からの継続隊員がいますので、**2021 年度の募集は 21組 - 2020 年度継続隊員組 = 新規募集組数 5組**とさせていただきます。ただし希望組数の人数の状況を見ながら定員を検討していきますが、**新規募集 5組**とします。

2017 年度の反省から年間を通して参加できる登録隊員だけで実施すると体調や都合などで参加できない場合、少ない人数で実施することになり、せっかく準備したのにもったいないと思われる時が多々ありました。そこで登録隊員の参加組数を毎回調査し、15組に満たない場合は満たない組数をキャンセル待ち制度を作り参加できなくなった隊員の組数を補充するにしたい。そのためには**少し早めの出欠の確認を確実にするようお願いします。**

**2021 年度年間計画**…実施日・予備日は他行事と調整し変更になる可能性があります  
新型コロナ感染防止のため以下のことを実施します。

- ・参加の申し込みをした時は添付した文書の左側のセルフチェックに記入し、参加当日は右側の当日用のチェック表に記入し受付で提出する。当日の検温で  $37.5^{\circ}\text{C}$  以上や体調不良があった場合は参加を遠慮してもらおう。
- ・使用するウェーダー、水網は個人で使用して、11月まで貸与とし家庭で管理してもらおう。
- ・公共交通機関はなるべく使用せず、マイカーで参加する。
- ・3つのグループに分け、活動場所をローテーションすることにより他のグループと

接触しないようにする。グループごとに安全管理要員を配置し家族と家族の間が2m以上になるように助言する。

- ・マスクは激しい活動以外は常着する。
- ・管理棟は使用せず、解説は前日の夜 Zoom により行い、家庭で視聴してもらう。

第1回「こどもの森公園と水生生物について」4月11日(日) 予備日18日(日)、Zoomによる解説10日(土)

Zoomによる解説10日19:00~最大で、20:30 隊員の自己紹介(入隊した動機・やりたいことなど)、解説「あつぎこどもの森公園の成り立ちとこれから」「水生昆虫について」・班分け

当日9:30 管理前棟集合 ~受付・チェックカード提出・検温、利用会員の未登録の方は手続き  
9:45~作業棟へ移動をしながら施設見学 10:00~採集準備(採集道具の配布・自分に大きさを合ったウェーダーを探し身支度) 安全管理者の紹介 10:20~A 南側細流 B 北側細流 C 水田3・下湿地で採集 10:45~反時計回りにローテーション A 北側細流 B 水田3・下湿地 C 南側細流 11:10~A 水田3・下湿地 B 南側細流 C 北側細流 11:35~作業棟前で採集生物の説明 11:50~集合写真撮影 12:00~まとめと次回の予告・解散 12:05

第2回「両生類~カエル・イモリについて」5月16日(日)予備日23日日 Zoomによる解説15日(土)

Zoomによる解説15日19:00~19:40 出欠確認、「両生類~カエル・イモリについて・班分け」

9:30 作業棟集合・受付・検温・チェックカード提出 9:45~身支度・グループ分け安全管理者の紹介 9:50~A 溜池 B 南側細流セキシヨウ群生場所 C 水田3・下の湿地 10:20~反時計回りにローテーション A 南側細流セキシヨウ群生場所 B 水田3・下の湿地 C 溜池 10:50~A 水田3・下の湿地 B 溜池 C 南側細流セキシヨウ群生場所 11:20~採集生物の説明 11:35~集合写真撮影 11:45~使用道具の片づけ 12:00~まとめ・次回の予告・解散 12:05

トンボの羽化・産卵があれば観察・成熟したトンボがいれば採集説明、  
シュレーゲルアオガエルの卵塊があれば観察

第3回「ホタルについて」6月20日日 予備日27日日、Zoomによる解説19日(土)

Zoomによる解説19日19:00~19:40 「ホタルについて」・観察の諸注意

19:30 管理棟前集合受付・検温・チェックカード提出 19:40～ 観察上の注意安全管理者の紹介  
19:45～～空中回廊・エノキの広場・溜池・水田をめぐりゲボタル・ヘイケボタル・(クロマドボタル) を観察 20:40～管理棟前でまとめ・次回の予告・解散 20:50

第4回「水生カメムシについて」7月19日(月・祝日)予備日24日(土)Zoomによる解説18日(日)

7月18日(土)Zoomによる解説19:00～40 ログイン準備「水生カメムシについて」・班分け

9:30 作業棟前集合・健康チェックカード提出9:45 ～3つに班分け(A・B・C)安全管理者の配置・紹介10:00～身支度(貴重品は作業棟和室に入れ施錠)10:15～A細流B水田・ヨシ原C溜池10:45～A水田・ヨシ原B溜池C細流11:15～A溜池B細流C水田・ヨシ原11:45～集合写真11:55～A→B→Cの順に解説その裏で後片付け12:15～～まとめ・次回の予告・解散12:20

第5回「トンボについて」8月1日(日)予備日8日(日)、7月31日(土)Zoomによる解説

7月31日(土)Zoomによる解説 第1部19:00～40 ログイン準備「トンボについて」

第2部19:45～20:25「三角紙の作り方・使い方」「トンボ標本の作り方・保存の仕方」・班分け

9:30 作業棟前集合受付・検温・チェックカード回収9:40 ～3つに班分け(A・B・C)安全管理者の配置・紹介9:50～採集A細流・ヨシ原B水田C溜池10:15～採集A水田・ヨシ原B溜池C細流10:40～採集A溜池B細流C水田・ヨシ原11:05～馬込池へ移動11:20～採集A池B・C池周辺11:20～採集B池A・C池周辺11:35～採集C池A・B池周辺11:50～作業棟へ移動12:00～集合写真12:10～まとめ・次回の予告・解散12:15 ※名前のわからないトンボは残ってもらい個別に教える

第6回「水生コウチュウについて」・七沢遠足8月22日(日)予備日28日(土)、Zoomによる解説

8月21日(土)Zoomによる解説19:00～40 ログイン準備「水生コウチュウについて」

9:30 広沢寺温泉駐車場集合～受付・検温・チェックカード回収・保険料集金・トイレを済ませる  
9:50～大きな荷物は諏訪部車に積み込み身軽なかつこで休耕田まで徒歩移動10:10～荷物を下ろし、家族ごとの間隔を取って敷物を敷き、身支度、水分補給など休憩～10:30～支援者紹介、里

山ネット・あつぎ あいさつ 10:40～ 採集 A 休耕田 B 休耕田周辺の草地 C 水田作業 11:05～  
A 休耕田周辺の草地 B 水田作業 C 休耕田 11:40～A 水田作業 B 休耕田 C 休耕田周辺の草地 12:05  
～採集生物の解説 12:15～お弁当 12:50～ 大きな荷物を諏訪部車に載せ、自由時間 13:15～集  
合写真 13:25～広沢寺温泉駐車場まで徒歩移動 13:40～まとめ・次回の予告解・解散 13:45  
※この日は遠足の支度（お弁当・飲み物・敷物・お手拭き+いつもの着替え、水・陸の採集道具）  
をしてもらいます。公園外なのでレク保険(1人 50 円)を掛けますので、出欠を早めに取ります。

第7回「外来生物について」9月5日(日) 予備日 11日(土)、4日(土)Zoomによる解説

9月4日(土)Zoomによる解説 第1部 19:00～40 ログイン準備「外来種について」

第2部 19:45～20:10「イナゴ料理について」・質疑応答・班分け

9:30 管理棟前集合受付・検温・チェックカード回収 9:45～ 3つに班分け(A・B・C)安全管  
理者の配置・紹介 9:50～10:20 A・B・C 地点に分かれてセイタカアワダチソウの引き抜き 10:05  
～ヨシ原・水田・休耕田で～イナゴ捕り 10:20～作業棟へ移動・身支度・水分補給 10:30～ウシ  
ガエル駆除 A 細流 B 水田 C 溜池 10:55～駆除 A 水田 B 溜池 C 細流 11:20～採集 A 溜池 B 細流 C  
水田 11:45～集合写真 11:55～使用した道具類を洗い保管 12:15～～まとめ・次回の予告・解散  
12:20

(この時イナゴがいるので、イナゴ捕りをします。捕れたイナゴはこの場では調理できないので、  
イナゴを持ち帰ってもらい各家庭でイナゴの佃煮を作って賞味してもらいます。完全無農薬・  
無除草剤で育ったので、安全です。)

第8回「河川調査について」10月3日日 予備日 11日(月・祝日)、2か(土)Zoomによる解説

10月3日(土)Zoomによる解説 19:00～40 ログイン準備「河川調査について」

9:30 作業棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収・保険料集金 9:40～～貴重品は作業棟和  
室に置き施錠・身支度 10:00～荻野川へ降りる 10:20～いろいろな環境の生き物を採集 11:35  
～集合写真 11:45～採集生物の説明 11:55～移動・片付け 12:20～まとめ・次回の予告・解散  
12:25

※公園外なので、レク保険(1人 50 円)を掛け、出欠も早めにします。

第9回「ホトケドジョウについて」11月7日(日)予備日 13日(土)

こどもの森クラブ所属ホトケドジョウ研究家の住倉氏に特別に調査実習をしていただきます。

11月14日(土)Zoomによるオンライン講義 第1部 19:00~40 オンライン準備「ホトケドジョウについて」 第2部 19:45~20:25 折衝予定・質疑応答・調査場所の割り振り

9:30 管理棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収 9:45~貴重品は作業棟和室に置き施錠・身支度 10:00~細流をグループに分かれ一定の距離を採集調査 11:00~ホトケドジョウの体重・体長を計測・集計 11:45~採集した場所へ放流・後片付け 12:05~まとめ・次回の予告・解散 12:10

第10回「冬の生き物の過ごし方」12月5日(日)予備日 11日(土)、4日(土)Zoomによる解説

12月5日(土)Zoomによる解説 19:00~40 ログイン準備「冬場の生き物の過ごし方」・班分け

9:30 作業棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収 9:45~3つに班分け(A・B・C)安全管理者の配置・紹介 10:00~①・②・③地点に分かれていろいろな場所(陸上)を探索して過ごし方を観察(シャベルで草や倒木の下を掘る・ナタやドライバーなどで倒木を割る)20分ごとの場所をローテーションする 10:20・10:40・11:00 ~カブトムシ養殖場に落ち葉、回りに枯れ木を集めてすみか作り 11:30~道具の片付け 11:45~①, ②, ③の場所で見られた生物の解説 12:00~まとめ・次回の予告・解散 12:05

(生き物調査隊の作った堆肥場(養殖場)にカブトムシの幼虫がいたら、希望者は堆肥とともに各家庭に持ち帰り飼育観察をする。)

※水が冷たくなるので、今回から水の中はお休み!

第11回「落ち葉カキ・カブトムシ増やし」2022年1月10日(祝・月)予備日・Zoomなし

◎この回だけ自然PJ・農業PJの共同行事に参加させていただきます。

9:30 作業棟に集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~春の七草について説明(七草がゆに入れるので) 9:55~小学生以上は弁天山の落ち葉カキ、以下の親子は生き物調査隊の堆肥場への落ち葉カキ 11:15~①案:七草粥をいただく 11:45?~昼休み 12:00~弁天山の山頂付近で、冬越しする生き物を探す 13:00~見つけた生き物の解説 13:10~作業棟へ下山 13:25~まとめ・次回の予告・解散 13:30 ②案お弁当を食べる 11:45~以下①案と同じ

第12回「トンボの幼虫を絵に描こう」2月6日(日)雨天決行(管理棟内の活動)5日(土)Zoomによる解説

2月20日(土)Zoomによる 第1部 19:00~40 ログイン準備「トンボの幼虫・ヤゴについて」  
第2部 19:45~20:25 隊員の飼育している生き物の紹介・報告会・質疑応答

9:30 管理棟前集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~参した入れ物に数種のヤゴを配布する。順次解散 11:00 3密を防ぐため11時ころまで適当な時間に来てください

※飼い方など質問のある隊員は残り説明を聞く

※管理等が使えず3密が防げませんので、今回は数種類のヤゴを配布するだけで、家で絵を描いてもらいます。描いた絵はスキャナーで取り込んだ映像でもデジカメで撮影した映像でもよいので、メール添付で送ってもらいます。みんなの画集を作りますので、よろしくお願ひします。飼育が困難な方は公園に来た際水田に放してやってください。

管理棟が使える状況になっていたら

2月20日(土)19:00~Zoomによる解説

9:30 管理棟集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~あらかじめ集めておいたヤゴをはいふして観察し、大きく絵にかいてみる(虫眼鏡、ファールなどを使って細かなところまでよく見る)

11:30~絵の発表 11:50~12:00 まとめ・次回の予告・解散

※色鉛筆など筆記用具を持参してもらいます。

描いたものは集め、作品集を作ります。

飼いたいヤゴがいたら持ち帰れますので、容器を用意してください。

第13回「ヤマアカガエルについて」2021年3月6日(日) 予備日12日(土)、3月5日(土)Zoomによる解説

管理棟でヤマアカガエルの卵・幼生の絵を描く予定でしたが、管理棟が使用できず3密が防げませんので、今回は田んぼで卵塊を観察し、その一部を配布するだけで、家で絵を描いてもらいます。描いた絵はスキャナーで取り込んだ映像でもデジカメで撮影した映像でもよいので、メール添付で送ってもらいます。みんなの画集を作りますので、よろしくお願ひします。また、カエルになるまで観察し、記録を取ってみましょう。カエルはこどもの森公園に戻してもよいです、ず~と飼ってもよいです。

3月6日(土)Zoomによる解説 19:00~19:40「ヤマアカガエルについて」・質疑応答・次回やりたいこと

9:30 管理棟前に集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45～田んぼでいろいろな成長段階の卵塊・オタマジャクシの観察 10:00～持参した入れ物に卵塊のほんの一部・オタマジャクシを配布する 10:20～順次解散

管理棟が使える状況になっていたら

3月6日(土)Zoomによる解説 19:00~19:40「ヤマアカガエルについて」・質疑応答

9:20 管理棟前集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45～ヤマアカガエル卵塊調査 10:00～管理棟で卵塊・幼生の観察・スケッチ（虫眼鏡、ファールなどを使って詳しく見る） 11:40～賞状授与 11:50～12:00 まとめ・解散

※色鉛筆など筆記用具を持参してもらいます

描いたものは集め、作品集を作ります。

継続観察したい方は容器を持参ください。

※採集道具、ヒップウエーダーは貸与し家庭で管理してもらいます。サイズによっては不足することがあります。

※服装は長袖長ズボンで、長靴、タオル、もしもの場合の着替え

※公園内の生き物は原則持ち出し・持ち込みができませんので、予めご承知おきください。

ただし隊員は生息個体数が多く、影響の少ない生き物は体験のため家庭での飼育を認めます。

### 【期待する目標】

・ヤマビル対策やいろいろな生き物との接し方を体験させる

・田んぼ・畑耕作者・地域の人々に対するマナーを知る。

○家庭での生き物の親子での飼育体験により観察する芽を育てる

○環境により採集する生き物の違いから生物多様性を気付かせる

・水辺の植物にも関心を持ってもらう

・採集生物の管理棟での常設展示・飼育を模索（ヤマアカガエルの卵・オタマジャクシ、アカハライモリの産卵、トンボの羽化、イトモ・ミズオオバコ・ウリカワの栽培、……）

・春と秋のフェスタの「水辺の生き物展」展示に協力してもらう

・親同士・こども同士のつながりを深める。

・将来の進路に「生き物」「自然・環境」が選択肢に加わるようになってほしい

○できれば水辺の生き物調査隊の助手～後継ぎになってほしい

## ●あつぎこどもの森クラブ 「水辺の生き物調査隊」



生き物離れ・自然離れした子どもたちが増え、図鑑やネット・ゲーム画面で見るだけのものに・・・

2017年子どもたちと親御さんに中荻野の恵まれた自然の中に身をおいて、そこで生活している生き物に直接触れさせてあげたい・生き物とかかわる楽し

さを味わわせたい・生き物大好き家族を作りたい、の想いで野や林の生き物ではなくあえて水辺の生き物に絞った「水辺の生き物調査隊」を結成し活動をしてきた。

幼少年期の好奇心旺盛な時期に生き物や自然に触れることは、大人になってもその経験は財産として残る。何でも知りたいこの時期にまっすぐに自然の生業を見てもらい、記憶に残る経験を提供して、子どもたちが親になったときまた我が子に伝えることができるようになってもらいたいと願っている。子どもだけでなく親子ともども生き物とふれあい生き物大好き家族になってほしいと活動している。

3年目が終わるころコロナ禍が始まり、公園も閉園になり、緊急事態宣言が発令され活動を中止せざるを得なくなった。6月に入って感染拡大がやや落ち着いたがまだまだいろいろな活動が休止している中、厚木市公園緑地課に実施計画書を出し、感染防止策の指導を受け、ホテルの観察会を5家族限定で2晩行った。マスク着用、家族と家族の間にスタッフ（安全監視員）をはさみ社会的距離をあけるようにした。来園の際は公共交通機関を使わずマイカーを使用するよう徹底した。例年管理棟内で30分ほどホテルについてパワーポイントを使い説明してから観察するのだがそれを割愛し屋外だけの活動とし短時間で観察会を終えた。

7月以降も実施計画書を提出し多くの目で感染防止策を点検してもらった。当日管理棟内で説明していた物を前日の19:00~20:30にZoomを使ったオンライン解説をして、当日はマスク常着してもらい、一か所にまとまらないよう場所を分散させ5~6家族のグループを3つ作りローテーションで場所替えをしながら活動した。それぞれの活動場所にスタッフを配置して社会的距離を保つように安全管理をしてもらった。

ウエーダー・水網・バケツは当日貸していたが、使いまわしになるので次亜塩素酸水につけ消毒したものを自分専用になるよう貸与して家庭に持ち帰り管理してもらうようにした。

8月は公園内と七沢遠足を含め2行事を行ったが、里山ネットあつぎの休耕田での活動は少し手狭で社会的距離が保てないため、無理をお願いして6~7家族に分け2日間で行った。

毎回の活動は薄氷を踏む思いだが、生き生きした子ども達の活動を見るにつけこちらも嬉しくなり、次回はどんなことをしかけてやろうかなどと思い巡らせ可能な限り活動を続けたい。

Go Toが続く中、感染拡大は止まらず、今後どのような事態になるかわからないが、コロナ時代を上手に付き合いながら「水辺の生き物調査隊」を継続していきたい。2021年度若干組募集をします。興味ある方は諏訪部（tyakasan51223@yahoo.co.jp）まで連絡ください。

（隊長 諏訪部 晶）

